

大阪観光大学「開学 10 周年記念号」発刊によせて

平成 12 年 4 月、(学)明浄学院は、大阪南部のこの地に高等教育・研究機関のさらなる充実を図るために大阪明浄大学観光学部を開設した。

創立当時の我が国の観光学研究は、実学から理論構築・体系化の途上にあり、専門の学部を有する大学もごく限られていた。そのような時期に観光学研究を学際的に展開する関西では初めての学部が設置されたことは重要な意味をもつものと考えている。

学際的研究が求められる観光学を「国際観光」「観光経営」「観光文化」の 3 分野にわけ、各分野の著名な研究者がこの地に集められた。

大学そのものの起源は明確ではないが「12 世紀ルネッサンス」の頃だと言われ、ヨーロッパ各地から、学生や教師がボローニャやパリに集まり、知的共同体としてのユニヴェルシタス（ギルド）を結成したのが始まりだと言われている。言うまでもなく当時の大学とは形態や規模は異なるとしても、本学創立の理念もまたこの頃と変わりがないように思う。

大学は知的生産の場である。良き研究は、良き教育に通じるものであり、研究は大学の使命だといえる。大学の論集はそれらの成果を凝縮したものである。創立 10 周年を記念し、学部教員、本学名誉教授をはじめ本学と関係の深い先生方の貴重な研究の成果をまとめ、ここに「開学 10 周年記念号」を発刊するはこびとなり、あらためてご協力、ご支援を賜った関係各位に心より謝意を表するとともに、本論集が関連諸学会に貢献できるものと信ずる次第であります。

平成 22 年 3 月

大阪観光大学学長 槻本邦夫